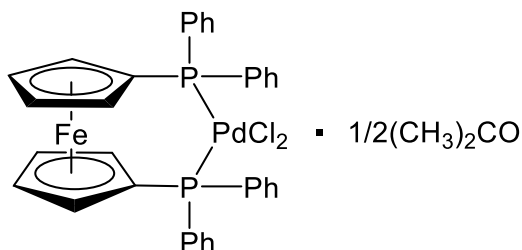


## PdCl<sub>2</sub>(dppf) · 1/2 (CH<sub>3</sub>)<sub>2</sub>CO **NEW!**

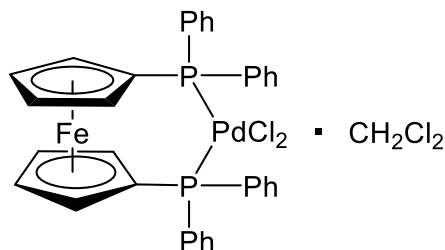
ジクロロメタンフリーのPd-dppf錯体。ICH-Q3C(医薬品の残留溶媒ガイドライン)において、毒性の低い溶媒のアセトンを使用しており、医薬品合成において低リスクで使用が可能。

### PdCl<sub>2</sub>(dppf) · 1/2 (CH<sub>3</sub>)<sub>2</sub>CO



CAS No. 138549-82-3

### PdCl<sub>2</sub>(dppf) · CH<sub>2</sub>Cl<sub>2</sub>



CAS No. 95464-05-4

ICH-Q3C(医薬品の残留溶媒ガイドライン)の比較

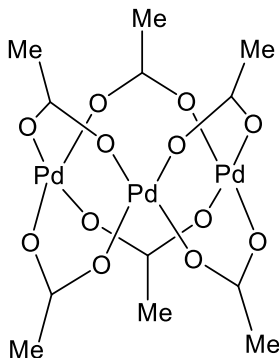
溶媒	クラス	濃度限度値 (ppm)
ジクロロメタン	2 (残留を規制すべき溶媒)	600
アセトン	3 (毒性の低い溶媒)	5,000

## 高純度酢酸パラジウム **NEW!**

標準品に微量含まれるNO<sub>2</sub>を除去した高純度品。トリマー構造をとっており、通常品で反応が進行しにくい場合に有効。

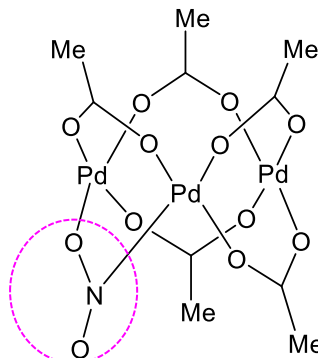
### 高純度酢酸パラジウム

Pd<sub>3</sub>(OAc)<sub>6</sub> トリマー構造



### 酢酸パラジウム(標準品)

Pd<sub>3</sub>(OAc)<sub>5</sub>(NO<sub>2</sub>) NO<sub>2</sub>配位構造



参考文献: *Org. Lett.* **2015**, *17*, 5472–5475